

令和2年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

令和元年11月13日

上場会社名 元旦ビューティ工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 5935 URL <https://www.gantan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 船木 亮亮

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長兼財務グループ長 (氏名) 松橋 昭博

TEL 0466-45-8771

四半期報告書提出予定日 令和元年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年3月期第2四半期の業績(平成31年4月1日～令和元年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第2四半期	7,003	46.0	165		172		148	
31年3月期第2四半期	4,794	5.7	150		152		122	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第2四半期	193.48	
31年3月期第2四半期	159.94	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年3月期第2四半期	9,168	3,947	43.0
31年3月期	8,649	3,865	44.6

(参考)自己資本 2年3月期第2四半期 3,947百万円 31年3月期 3,865百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期		0.00		40.00	40.00
2年3月期		0.00			
2年3月期(予想)				50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和2年3月期の業績予想(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,700	10.1	400	17.5	380	19.8	234	61.4	305.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2年3月期2Q	771,606 株	31年3月期	771,606 株
期末自己株式数	2年3月期2Q	4,395 株	31年3月期	4,395 株
期中平均株式数(四半期累計)	2年3月期2Q	767,211 株	31年3月期2Q	767,211 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における日本経済は、消費税増税前の駆け込み需要などの影響でわずかに国内GDPは上昇するものの、中国経済の減速や相次ぐ台風・豪雨等の自然災害の影響などにより、景気の先行きはさらに不透明感を増しております。

また、建設業界においては、公共投資や民間建設投資が堅調に推移しておりますが、労務費や建設資材価格の高止まりにより、引き続き工事採算は厳しい状況にありました。

このような状況のなか、当社は地球環境保全に貢献できる太陽光発電屋根や、近年深刻化する自然災害に耐える製品、意匠性の高いオリジナル製品の開発など、高機能・高品質屋根の普及に取り組むことで拡販に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は、前期からの工期ずれや想定以上の売上高集中により7,003百万円（前年同期比46.0%増）となり、その内訳は製品売上高が3,484百万円（前年同期比20.8%増）、完成工事高が3,518百万円（前年同期比84.1%増）となりました。

損益面におきましては、営業利益は165百万円（前年同期は150百万円の損失）、経常利益は172百万円（前年同期は152百万円の損失）となり、四半期純利益は148百万円（前年同期は122百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ518百万円増加し、9,168百万円となりました。その主な要因としては、現金及び預金が414百万円、売上債権が263百万円、無形固定資産が116百万円それぞれ増加した一方、仕掛工事の完工などにより棚卸資産が237百万円減少したことなどによるものです。

負債合計は前事業年度末に比べ436百万円増加し、5,220百万円となりました。その主な要因としては、仕入債務の決済増に伴い仕入債務が176百万円減少したほか、借入金の返済に伴い長期借入金が205百万円減少した一方で、短期借入金が700百万円、その他の流動負債に含まれる設備未払金が96百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

純資産合計は、利益の増加などにより前事業年度末に比べ82百万円増加し3,947百万円となり、自己資本比率は43.0%になりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和2年3月期通期の業績予想につきましては、令和元年5月15日付「平成31年3月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」で公表いたしました業績予想に変更はございません。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成31年3月31日)	当第2四半期会計期間 (令和元年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	388,625	803,210
受取手形及び売掛金	1,513,611	1,692,724
完成工事未収入金	719,675	803,587
製品	595,958	586,094
仕掛品	6,056	6,407
未成工事支出金	727,567	445,369
原材料	700,004	753,847
その他	257,683	256,415
貸倒引当金	△14,630	△16,251
流動資産合計	4,894,552	5,331,406
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,029,598	1,014,079
機械及び装置（純額）	313,564	315,601
土地	1,446,777	1,444,183
その他（純額）	51,822	72,364
有形固定資産合計	2,841,763	2,846,227
無形固定資産	57,185	173,231
投資その他の資産		
投資有価証券	645,184	593,966
その他	420,240	429,420
貸倒引当金	△209,191	△205,911
投資その他の資産合計	856,232	817,475
固定資産合計	3,755,180	3,836,934
資産合計	8,649,733	9,168,341
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	608,848	763,769
電子記録債務	1,491,798	1,271,243
工事未払金	328,464	217,671
短期借入金	391,000	1,051,600
未払法人税等	20,720	44,111
製品保証引当金	28,882	34,362
その他	814,900	909,733
流動負債合計	3,684,613	4,292,491
固定負債		
長期借入金	571,000	405,000
退職給付引当金	465,602	476,752
その他	63,046	46,434
固定負債合計	1,099,649	928,187
負債合計	4,784,263	5,220,678

(単位：千円)

	前事業年度 (平成31年3月31日)	当第2四半期会計期間 (令和元年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,266,921	1,266,921
利益剰余金	2,251,586	2,369,339
自己株式	△16,798	△16,798
株主資本合計	3,501,709	3,619,462
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	363,760	328,199
評価・換算差額等合計	363,760	328,199
純資産合計	3,865,469	3,947,662
負債純資産合計	8,649,733	9,168,341

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)
売上高	4,794,749	7,003,608
売上原価	3,505,439	5,265,654
売上総利益	1,289,310	1,737,953
販売費及び一般管理費	1,440,232	1,572,614
営業利益又は営業損失(△)	△150,922	165,338
営業外収益		
受取配当金	9,649	9,954
受取賃貸料	2,102	4,492
売電収入	6,546	6,444
その他	8,065	10,044
営業外収益合計	26,364	30,936
営業外費用		
支払利息	8,267	4,790
手形売却損	6,817	5,757
減価償却費	6,203	5,319
その他	6,877	7,990
営業外費用合計	28,166	23,856
経常利益又は経常損失(△)	△152,724	172,418
特別利益		
固定資産売却益	—	4,894
特別利益合計	—	4,894
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△152,724	177,312
法人税、住民税及び事業税	13,127	29,826
法人税等調整額	△43,137	△954
法人税等合計	△30,009	28,871
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△122,714	148,441

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。